おやばと

発 行 所
公益社団法人自衛隊家族会
〒162-0845
東京都新宿区
市谷本村町5-1
(TEL) 03-5227-2468
(FAX) 03-5227-2473
購読料1ヶ月一部110円
ホームページ
http://www.jkazokukai.or.jp/
メールアドレス
jkazokukai@jkazokukai.or.jp

主な記事

◇中ロ海軍が日本海で連携した演習実施　1面
◇回想「令和4年度自衛隊音楽まつり」　2面
◇令和5年版防衛白書の概要　3面
◇特集「海上自衛隊衛生の紹介と取り組みについて」　8面
シリーズ企画
自衛隊の学校（第27回）、美佐の新国防論、きずな　❷面
米国事情（第42回）　❸面
歌壇・俳壇、健康の扉　❻面
シニアの鉄人「65歳年金の繰り下げは思案のしどころ!?」　❼面
家族会長等奮戦記、教育隊学生からのメッセージ　❽面

中ロ海軍が日本海で連携した演習実施

厳しい安全保障環境を象徴

ロシアのウクライナ侵略による戦いが続く中、中国はロシアとの連携を東アジアで強めています。7月28日に公表された令和5年版防衛白書でも「中ロ両国による度重なる共同での活動は、わが国に対する示威活動を明確に意図したものであり、わが国の安全保障上、重大な懸念」としていますが、ロシアに対する国際的な批判がある中、中国は、7月にロシアとの大規模な軍事演習を日本海で行っています。

射撃訓練を実施するロシア海軍フリゲート艦（写真左）および中国海軍ミサイル駆逐艦（統幕HP）

中国人民解放軍が公表

中国人民解放軍は7月20日、日本海で行われる中ロ合同演習「北部・連合2023」に参加予定の艦隊が、ロシア海軍の演習参加艦艇らと合流したと発表しています。

海自が継続的に監視活動

統合幕僚監部は7月24日、7月18日から23日にかけて隠岐諸島（島根県）の北約400kmの海域において、中ロ両国の艦艇が射撃訓練、陣形運動および艦載ヘリコプターの発着艦を含む各種訓練を実施したことを確認したと発表しました。

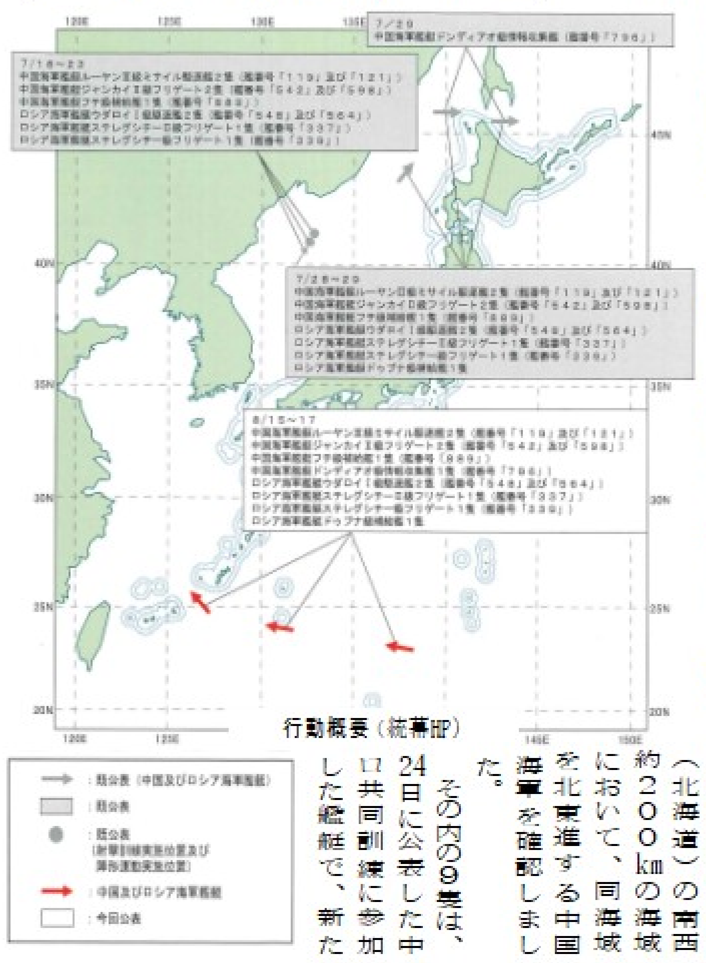
共同訓練には合計で9隻の艦艇が参加しました。中国海軍からルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦2隻（艦番号「119」および「121」）、ジャンカイⅡ級フリゲート2隻（艦番号「542」および「598」）、フチ級補給艦1隻（艦番号「889」）の5隻が、ロシア海軍からはウダロイⅠ級駆逐艦2隻（艦番号「548」および「564」）、ステレグシチーⅡ級フリゲート1隻（艦番号「337」）、ステレグシチー級フリゲート1隻（艦番号「339」）の4隻が参加しています。

また、同じく統合幕僚監部は、7月28日に礼文島（北海道）の南西約200kmの海域において、同海域を北東進する中国海軍を確認しました。

その内の9隻は、24日に公表した中ロ共同訓練に参加した艦艇で、新たにロシアのドゥブナ級補給艦1隻を加えた計10隻を確認しました。その後、28日から29日にかけて、これらの艦艇が宗谷海峡を東進したことを確認したと7月29日に公表しました。

この際、海上自衛隊第15護衛隊所属「ちくま」（大湊）、第3護衛隊所属「ひゅうが」（舞鶴）および第2航空群所属「P-3C」（八戸）、第1ミサイル艇隊所属「わかたか」（余市）により警戒監視・情報収集を行ったとしています。

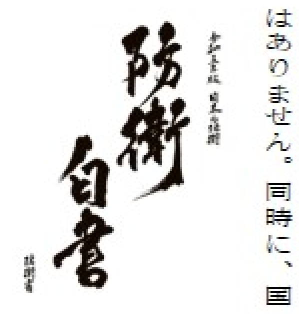
なお、これらの艦隊は、8月15日には、沖ノ鳥島（東京都）の北東約280kmの海域を西進し、17日には、沖縄本島と宮古島（沖縄県）との間の海域（宮古海峡）を北西進して、東シナ海へ向けて航行したことを海上自衛隊が確認しています。


7/18～23
7/29
7/28～29
8/15～17
：既公表（中国及びロシア海軍艦艇）
：既公表
：既公表（射撃訓練実施位置及び陣形運動実施位置）
：中国及びロシア海軍艦艇
：今回公表
行動概要（統幕HP）

令和5年版防衛白書を公表

防衛力の抜本的強化の意義を強調

防衛省は7月28日、昨年12月に閣議決定された「国家安全保障戦略」などの戦略三文書を公表後、初めての防衛白書を公表しました。



「自分の国は自分で守る」そのための努力を強調

令和5年版防衛白書の巻頭で、浜田靖一防衛大臣は「世界は歴史の分岐点を迎えている。国際社会は戦後最大の試練の時を迎え、新たな危機の時代に突入しつつある」「まず優先されるべきは、外交努力であることは言うまでもありません。わが国は、法の支配を尊重し、いかなる紛争も、平和的・外交的に解決すべきであるとの方針を変えることはありません。同時に、国民の命や暮らしを守り抜くうえでは、抑止力を高め、相手に対して『日本を攻めても目標を達成できない』と思わせることが不可欠です」と防衛力の抜本的強化の意義を述べています。

わが国を取り巻く安全保障環境

◇ロシアのウクライナ侵略

「ロシアによるウクライナ侵略は、国連憲章を含む国際法の深刻な違反。このような侵略を容認すれば、他の地域でも力による一方的な現状変更が認められるとの誤った含意を与えかねず、わが国を含む国際社会として、決して許すべきではない」としています。

◇中国

「中国の軍事動向は、わが国と国際社会の深刻な懸念事項であるとともに、これまでにない最大の戦略的な挑戦。わが国の総合的な国力と同盟国・同志国などとの協力・連携により対応すべきもの」「2022年の第20回党大会の報告においては『世界一流の軍隊』を『早期に』構築することが社会主義現代化国家の全面的建設の戦略的要請であることを新たに明記しており、21世紀半ばまでに実現するとしてきた『世界一流の軍隊建設』について目標の前倒しを検討している可能性」と評価しています。

また「中ロ両国による度重なる共同での示威活動は、わが国に対する示威活動を明確に意図したものであり、わが国の安全保障上、重大な懸念」と中ロの連携を警戒しています。

G7首脳とゼレンスキー大統領（首相官邸HP）

◇中台問題

「中国は台湾周辺における威圧的な軍事活動を活発化、国際社会の安全と繁栄に不可欠な台湾海峡の平和と安定について、わが国を含め国際社会全体において急速に懸念が高まっている。力による一方的な現状変更は世界共通の課題との認識の下、同盟国たる米国や同志国、国際社会と連携しつつ、関連動向を一層の緊張感を持って注視する」としています。

◇北朝鮮

「北朝鮮の軍事動向は、わが国の安全保障にとって従前よりも一層重大かつ差し迫った脅威となっており、地域と国際社会の平和と安全を著しく損なうもの」と警戒しています。

激変する時代を巻頭で特集

防衛白書では、昨年末に閣議決定された「国家安全保障戦略」などの戦略三文書について章を新設して解説していますが、巻頭では、13年（前国家安全保障戦略策定時）以前と22年（現国家安全保障戦略策定時）までの「変化」に注目し「激変する時代―10年の変化―」と題した特集記事に加え「国家防衛戦略」の内容を写真や図表を用いて解説しています。

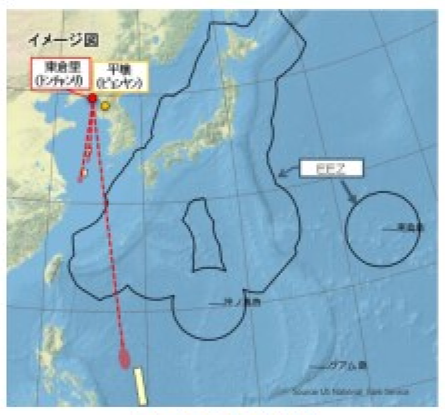
人的基盤の重要性を強調

浜田防衛大臣は巻頭言において「どれだけ高度な装備品を揃えたところで、それを扱う『人』がいなければ防衛力は発揮できません。自衛隊員は防衛力の中核です。隊員の生活・勤務環境の改善をスピード感をもって進めていくとともに、処遇の向上を図っていきます」と強調しています。

（関連記事3面）

北朝鮮、衛星と称するミサイル発射

防衛省は8月24日朝「本日3時51分頃、北朝鮮から弾道ミサイル技術を用いたものが発射され、複数に分離したあと日本の排他的経済水域の外側の3つの海域に落下した。北朝鮮は、今回の発射により衛星の打ち上げを試みたが、地球周回軌道への衛星の投入は確認されておらず、衛星打ち上げに失敗したとみられる」と発表しました。



イメージ図（防衛省HP）

今回の発射は、5月31日に打ち上げを失敗して以来のことです。

これについて、北朝鮮は24日、軍事偵察衛星「マルリギョン1号」を新型ロケット「チョルリマ1型」で打ち上げたものの、飛行していた3段目に異常が発生し、失敗したと発表しました。また、10月に3回目の発射を行うと予告しています。

浜田靖一防衛大臣は、記者会見で「北朝鮮は今後も各種ミサイル発射や衛星打ち上げ、核実験などの更なる挑発行為に出る可能性がある。防衛省として、引き続き情報の収集・分析及び警戒監視に全力を挙げる」「弾道ミサイル等の破壊措置命令についても、国民の生命・財産を守り抜くため、引き続き万全を期してまいりたい」と述べています。

防衛省は、今年の4月22日に「弾道ミサイル等に対する破壊措置の準備に関する自衛隊一般命令」を発令しており、イージス艦や地上配備型の迎撃ミサイルによる迎撃態勢を維持し、警戒監視を続けています。

訂正

・第512号（8月15日号1面）「人口減少社会にあって」記事中の「小野田美紀防衛大臣政務官」を「小野田紀美防衛大臣政務官」に、写真説明文中の「小野田防衛副大臣」を「小野田防衛大臣政務官」に訂正いたします。

乗艦協力プログラムを実施

防衛省は8月6日から8月13日の間、オーストラリア連邦周辺海域および護衛艦「いずも」艦上において、海軍士官らを対象とした「第5回日ASEAN乗艦協力プログラム」および「第1回日太平洋島嶼国及び東ティモール乗艦協力プログラム」を実施しました。

参加国はASEAN加盟7カ国、太平洋島嶼国11カ国および東ティモール民主共和国で、この間、海洋に関する国際法を含む各種セミナー、各種訓練の見学、搭載航空機体験搭乗などが行われました。

プレゼンテーション風景（防衛省TW）

また、海上保安庁および海上自衛隊による海洋に関する国際海洋法セミナーも実施されました。参加者は自由で開かれたインド太平洋の実現に向け、海洋の法的秩序の根幹をなす海洋法に関する理解を深めました。

国際海洋法セミナー（防衛省TW）

今回は、乗艦協力プログラムの対象国を太平洋島嶼国に広げて行われ、海洋安全保障をテーマにしたプレゼンテーションでは「質疑応答も活発に行われ、各国を取り巻く海洋安全保障に対する理解が深まった」としています。

女性・平和・安全保障推進本部の初会合

防衛省は8月8日「防衛省女性・平和・安全保障（WPS）推進本部」の初会合（本部長・小野田紀美防衛大臣政務官）を開催しました。「これまでも国内外で取り組んできたWPSの推進活動を今後省一体となって強化し、隊員一人一人の意識向上を図っていく」としています。

あいさつする防衛大臣政務官（防衛省TW）

2000年に、平和・安全保障の文脈に「女性」を関連付けたWPS（Women, Peace and Security）に関する安保理決議1325号が採択されました。

この決議は、紛争において女性や女児が男性や男児とは異なる影響を受けていることを認識するとともに、女性を平和・安全保障の主体者としても認識し、紛争予防や平和維持活動等の全ての段階において女性の平等で十全な参画を要請したものです。

これを受けて、わが国では2015年に第1次「女性・平和・安全保障に関する行動計画」が策定され、本年4月には第3次「行動計画」が策定されています。

なお7月25日、米国笹川平和財団のプログラムで米国防省などのWPS専門家一行が防衛省を訪問し、WPSに関する取り組みについて意見交換を実施しています。

陸海空自衛官募集
Japan Self-Defense Forces
陸海空自衛官
0120-063792
【自衛官募集ホームページ】
http://www.mod.go.jp/gsdf/jieikanbosyu/

防衛大学校の魅力を肌で感じる
第71回 開校祭
2023年11月11日（土）（予定）
12日（日）（予定）
上記にて入試相談会実施予定

入試相談会

開校祭特設サイト

開校祭 棒倒し

開校祭 観閲式

自衛官募集ホームページ
自衛官の仕事内容、採用コースの
全てがここで分かる!!
自衛官募集　検索

自衛官募集広報動画配信中
【自衛隊の魅力を伝達】　【自衛隊の誤解を払拭】
YouTube
自衛官募集チャンネル
自衛官という職業の魅力を分かりやすく
動画配信！

防衛省・自衛官募集SNS

自衛官募集メールマガジン
はじめました
自衛官の仕事に興味はあるけど、「何を見たらいいんだろう？」という方におすすめ!!
旬な最新情報が自動で入手できます。

守るあなたへ

私たちは　おふたりの素晴らしい
はじまりのときをつくります
そして　おふたりとともに
おふたりのしあわせ　家族のしあわせを
はぐくむホテルでありつづけます

組合員に贈る　期間限定プラン
プラン6大特典
①挙式衣裳　新郎新婦各1点　100%off（上限あり）
②色直衣裳　新郎新婦各1点　100%off（上限あり）
③婚礼料理　22,000円→16,500円
④婚礼料理　新郎新婦プレゼント
⑤フリードリンク　50%off
⑥サービス料対象項目　50%off
※適応条件　2024.3.31までに30名以上の挙式・披露宴をお申し込みの方
Hotel wedding
HOTEL GRAND HILL ICHIGAYA
〒162-0845 東京都新宿区市谷本村町4-1 専用線 8-6-28853 MAIL salon@ghi.gr.jp　グラヒル　検索
TEL 03-3268-0115（ブライダルサロン直通）営業時間（火曜日定休）【平日】10:00～18:00【土日祝】9:00～19:00